

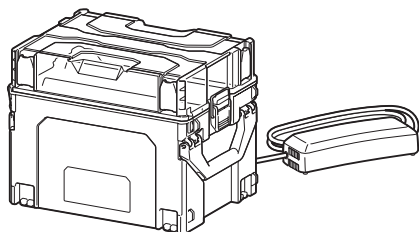
Makita

取扱説明書

多口充電ケース

モデル BCC01

モデル BCC02



このたびは多口充電ケースをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

はじめに

主要機能	2
安全上のご注意	3
各部名称	8
標準付属品の確認	10
別販売品のご紹介	10

ご使用前の準備

使用前に知っておいていただきたいこと	12
--------------------	----

使い方

本製品の操作	13
・ フタの開け方／開め方	13
・ フタの取りはずし／取り付け方法	14
・ 本製品の置き方	16
・ バッテリーの充電方法	17
・ 効率の良い充電手順について	19
・ 充電表示ライトと充電状況表示ラベルについて	20
・ 14.4 V/18 V バッテリーを充電する (BCC01)	22
・ 充電器の冷却システムについて	23
・ 南京錠ホールについて	24
・ トレイの交換について	24
・ マックバック (別販売品) の取り付け方	25
・ カート (別販売品) の取り付け方	26
・ トローリ (別販売品) の取り付け方	28
・ バッテリーを長持ちさせるには	29
・ バッテリーの回収について	29

保守／点検

保守	30
点検	31

はじめに

主要機能

主要機能		モデル	BCC01	BCC02
入力電圧			48 V	
入力電流			6.8 A	
充電口数			8 口	12 口
バッテリー 充電端子	出力電圧		直流 40 V max ※ 1	
	出力電流		直流 1.6 A	
本製品寸法			長さ 295 mm × 幅 407 mm × 高さ 320 mm	
質量※ 2			6.5 kg	6.8 kg
充電器			DC4002	
入力電圧			単相交流 100 V	
入力周波数			50-60 Hz	
入力容量			350 W	
出力電圧			48 V	
出力電流			6.8 A	
本製品寸法※ 3			長さ 262 mm × 幅 93 mm × 高さ 63 mm	
質量※ 4			1.1 kg	

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

※ 1：40 V max は満充電時のバッテリー電圧を表しています。

※ 2：バッテリー、充電器 DC4002 を除く。

※ 3：AC コード、コネクタ部分を除く。

※ 4：AC コード、コネクタ部分を含む。

■ 対応バッテリー別充電時間（フル充電完了時間）

バッテリー	モデル		BCC01		BCC02	
	4 個同時充電	全バッテリー充電	4 個同時充電	全バッテリー充電	4 個同時充電	全バッテリー充電
BL4020	約 75 分	約 150 分	約 75 分	約 225 分		
BL4025	約 90 分	約 180 分	約 90 分	約 270 分		
BL4040	約 145 分	約 290 分	約 145 分	約 435 分		
BL4040F	約 145 分	約 290 分	約 145 分	約 435 分		
BL4050F	約 175 分	約 350 分	非対応	非対応		
BL4080F	約 280 分	約 560 分	非対応	非対応		

安全上のご注意

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

： 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

： 本製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

⚠ 警告

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは本製品の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造をしていない電源プラグおよびそれに対応する電源コンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 充電工具、バッテリーおよび本製品は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や本製品内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
3. 本製品の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って本製品を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電したりする恐れがあります。
 - ・ 電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
4. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
 - ・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
5. 使用しない本製品およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 本製品からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 本製品は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
2. マキタが指定した専用バッテリー以外、充電しないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を充電しないでください。
 - ・ 本製品の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
3. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・ 火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・ バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・ 本製品からはずしたバッテリーには、バッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。

⚠ 警告

5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触らないでください。
 - ・ 万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・ バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーは火への投入、加熱をしないでください。
 - ・ 発火、破裂の恐れがあります。
7. バッテリーに釘を刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしたりしないでください。
 - ・ 発熱、発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・保管しないでください。
 - ・ バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
9. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・ バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは充電しないでください。
11. 落としたり、何らかの損傷を受けたりしたバッテリーは充電しないでください。
 - ・ 損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
12. バッテリーを廃棄するとき是一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・ 棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。
13. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
 - ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・ 充電前に、保護カバーや外観上で損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理をお申し付けください。
 - ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると、発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
 - ＜異常・故障例＞
 - ・ 本製品やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
 - ・ 不具合を感じた場合はすぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
 - ＜不具合例＞
 - ・ 電源プラグを電源コンセントに差し込んでも本製品が起動しない。
 - ・ バッテリーを差し込んでも充電を開始しない。
2. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤など可燃性の液体・ガス・粉じんのある場所では充電しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
3. 可燃性の液体・ガス・粉じんを含んだものを本製品に収納、保管しないでください。
 - ・ 爆発や火災の恐れがあります。
4. 電動工具など、バッテリーおよび充電器 DC4002 以外のものを入れて運搬しないでください。
 - ・ 故障や事故の原因になります。
5. 十分な、防じん対策や飛散防止対策をしてください。
6. アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用しないでください。
 - ・ アスベストは、人体に肺がんなどの重大な健康被害を発症させる物質です。
7. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
 - ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニルなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものをさし込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ホコリの多い場所で充電しないでください。
8. 本製品のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
 - ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
9. 本製品は充電、運搬以外の用途には使用しないでください。

⚠ 警告

10.正しく充電してください。

- ・ 本製品は定格表示してある電源で使用してください。昇圧器などのトランス類を使用したり、直流電源で使用したりしないでください（当社インバータ発電機は除く）。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーを充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷したりすることがないように場所で充電してください。発煙・発火・感電の恐れがあります。

11.本製品を使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜いてきちんと保管してください。

12.本製品の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

13.子供に本製品およびバッテリーで遊ばせないでください。

- ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。

14.安全に責任を負う監督者がいない状態で、子供など補助を必要とする人を作業場に近づけたり、本製品および電源コードに触れさせたりしないでください。

- ・ けがの原因になります。

15.本製品で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 本製品の使用時に延長コードが必要な場合、本製品を最高の能率で支障なくご使用いただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

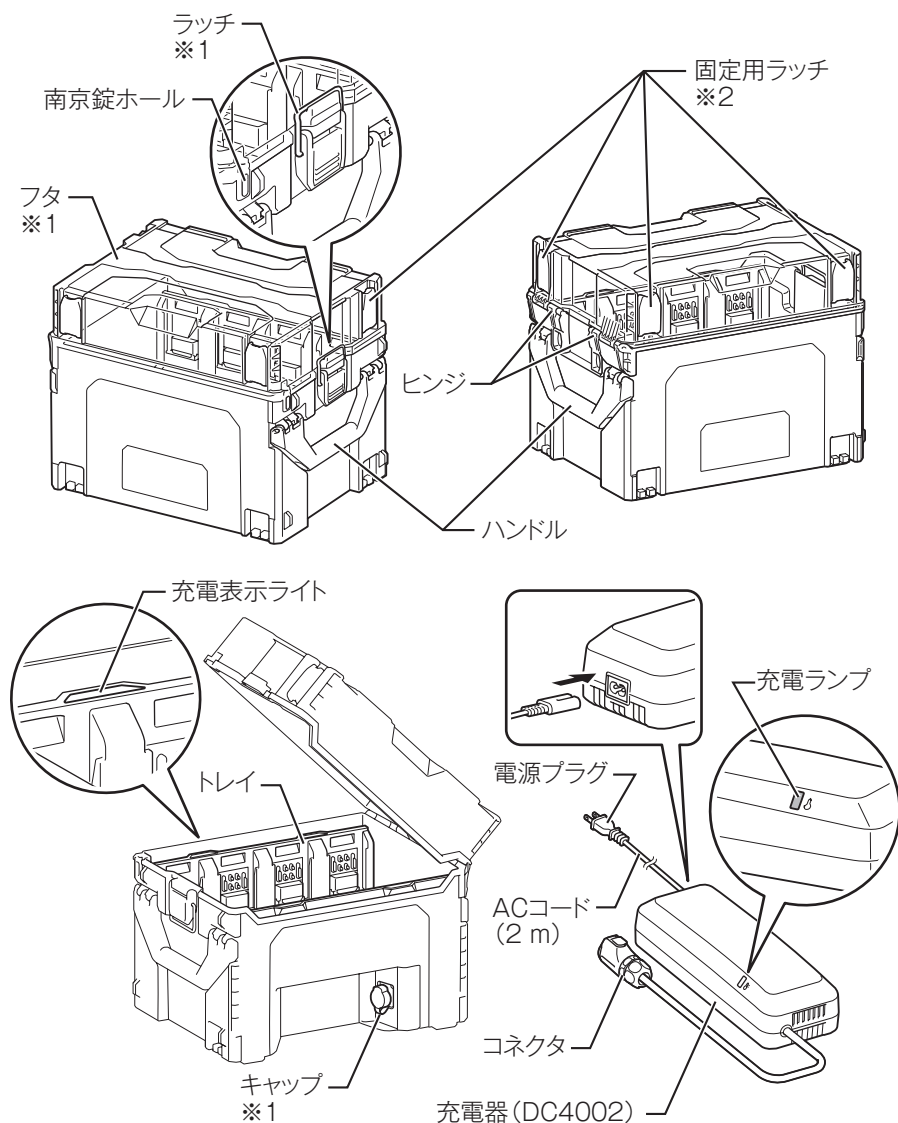
整備

1. 本製品は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本製品、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作したりして、けがをする恐れがあります。
- ・ 本製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 本製品が熱くなったり、異常に気付いたりしたときは点検・修理に出してください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。
- ・ アスベスト（石綿）周辺の環境下（除去作業含む）で使用了本製品の保守・点検・修理は受付できません。

各部名称

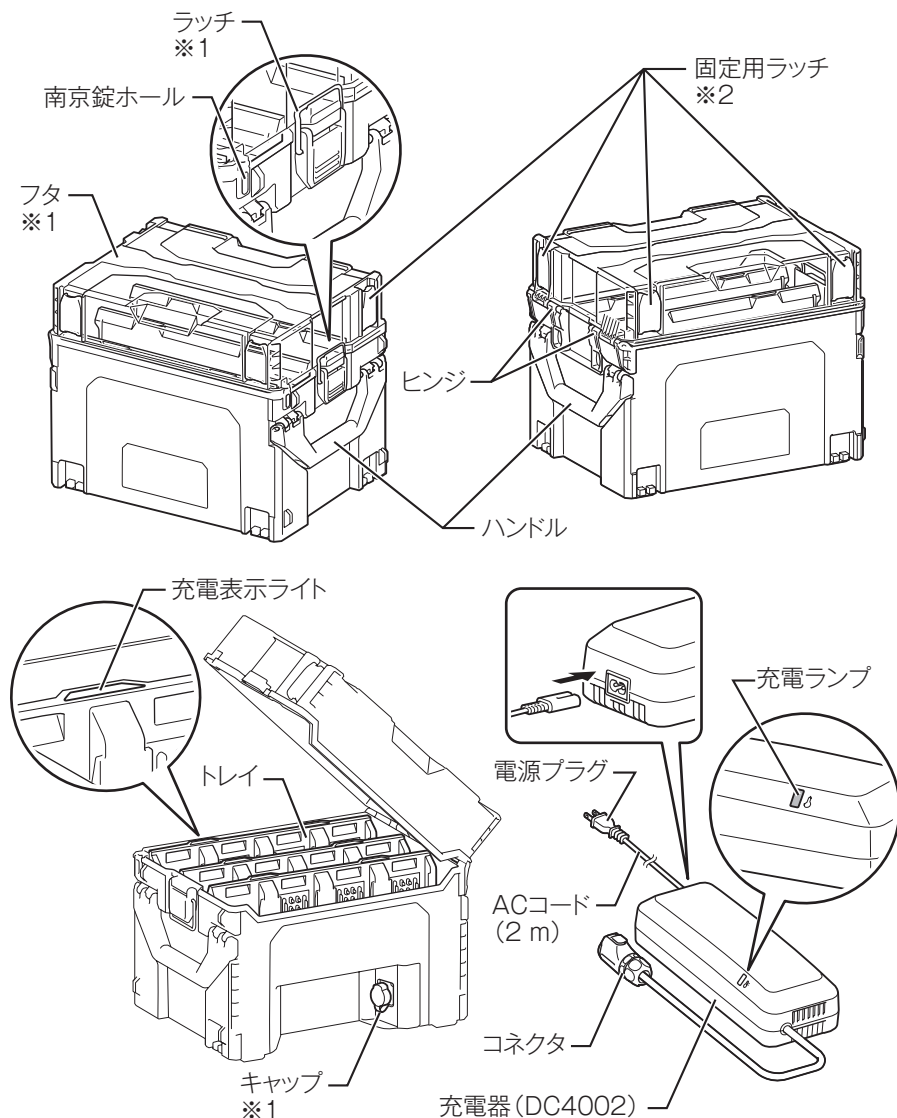
BCC01



※ 1：フタ、キャップを閉め、ラッチでフタをロックした状態、かつ上図のような縦置き状態では、IPX4 相当の防じん・防水保護等級を有します（充電器 DC4002 は除く）。

※ 2：固定用ラッチはマックバックとの連結に使用します。

BCC02



※ 1：フタ、キャップを開め、ラッチでフタをロックした状態、かつ上図のような縦置き状態では、IPX4 相当の防じん・防水保護等級を有します（充電器 DC4002 は除く）。

※ 2：固定用ラッチはマックバックとの連結に使用します。

標準付属品の確認

標準付属品 \ モデル	BCC01	BCC02
バッテリー	×	
充電器 (DC4002)	○	
AC コード (2 m)	○	

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ マックパックタイプ 1
部品番号：A-60501
- ・ マックパックタイプ 2
部品番号：A-60517
- ・ マックパックタイプ 3
部品番号：A-60523
- ・ マックパックタイプ 4
部品番号：A-60539
- ・ マックパック タイプ 1 ～ 4 セット品
部品番号：A-60545
- ・ カート
部品番号：A-60632
- ・ トローリ
部品番号：A-60648

充電可能バッテリー、アダプタ類

■ BCC01

品名	部品番号
BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
BL4040F (4.0 Ah)	A-73841
BL4050F (5.0 Ah)	A-72372
BL4080F (8.0 Ah)	A-73368
ADP10 ※	A-69967

※ BCC01 に取り付けることでマキタ 14.4 V/18 V バッテリーの充電が可能になるアダプタです。

■ BCC02

品名	部品番号
BL4020 (2.0 Ah)	A-75823
BL4025 (2.5 Ah)	A-69923
BL4040 (4.0 Ah)	A-69939
BL4040F (4.0 Ah)	A-73841

※ BCC02 では ADP10 は使用できません。

ご使用前の準備

使用前に知っておいていただきたいこと

運搬方法

⚠ 警告

本製品のハンドルを両手でしっかりと持って運搬してください。

- ・ 片手で持って運搬したり、ハンドル以外を持って運搬したりすると、本製品を誤って落下させて、破損やけがの原因になります。

運搬時の落下防止のため、ハンドルは常に乾いたきれいな状態に保ち、手が滑らないようにしてください。

フタが開いた状態や、フタがラッチでロックされていない状態で運搬しないでください。

充電器 DC4002 を接続した状態のまま運搬しないでください。

バッテリーを入れて運搬する場合は、必ずバッテリーを充電口に確実にセットしてください。

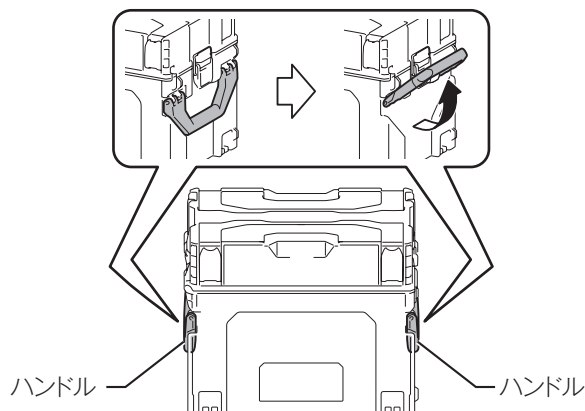
- ・ バッテリーを落下させて、破損やけがの原因になります。

本製品の充電口にバッテリーがセットされている場合は、非常に重くなっているため、別販売品のカートやトローリを使用して運搬してください。

- ・ 無理な運搬を行うと、事故やけがの原因になります。

ハンドル未使用時は、ハンドルを閉じた位置にしっかりと収めてください。

- ・ 本製品の両側面にはハンドルがあります。このハンドルを持つことで、本製品を運搬できます。



- ・ 本製品にカート（別販売品）を取り付ける手順は、26 ページを参照してください。
- ・ 本製品にトローリ（別販売品）を取り付ける手順は、28 ページを参照してください。

使い方

本製品の操作

フタの開け方／閉め方

⚠ 警告

フタを閉めたら、確実にラッチで固定してください。

フタの開閉時に指をはさまないように注意してください。

ラッチをはずさずに無理にフタを押し上げないでください。

- ・ ラッチの破損やけがの原因になります。

フタを全開にした状態で過度な力をフタに加えないでください。

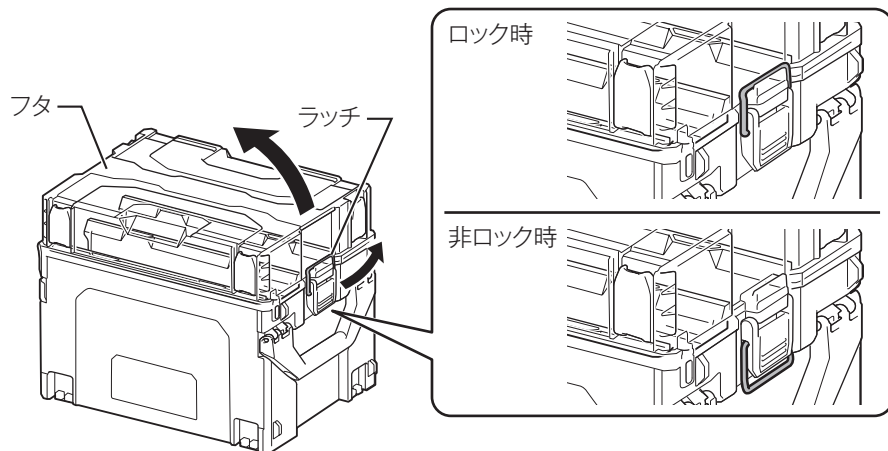
- ・ フタの破損やけがの原因になります。

フタにもものが積載された状態、または下部積載物が不安定な状態でフタを開閉しないでください。

- ・ 本製品の破損または事故の原因になります。

■ フタの開け方

- ・ ラッチを手前に引いてはずし、フタを開けます。



■ フタの閉め方

- ・ 開け方と逆の要領でフタを閉めてからラッチで固定します。

フタの取りはずし／取り付け方法

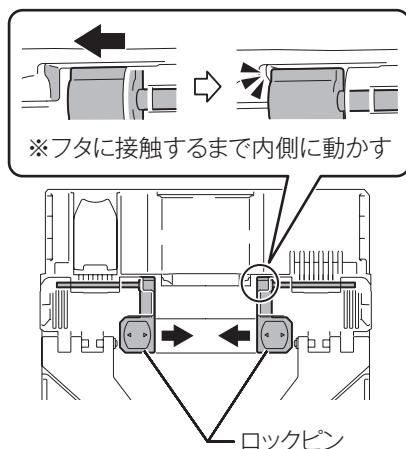
⚠ 警告

フタの着脱は、安定した滑りにくい水平な場所に置いて行ってください。
取りはずしたフタは、誤った用途（物置台や入れ物にするなど）に使用しないでください。

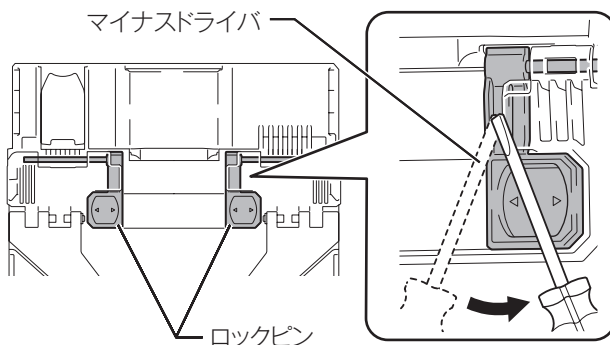
- ・ 本製品のフタは取りはずし、取り付けが可能です。

■ 取りはずし方

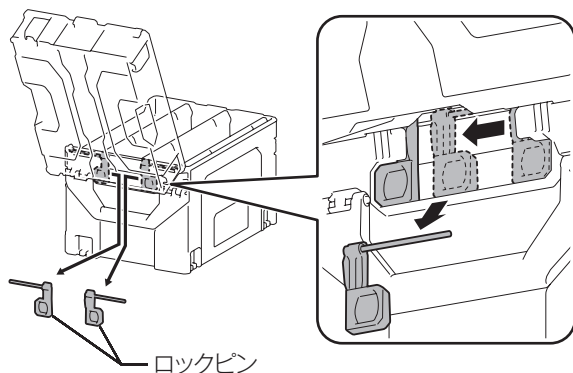
1. ロックピンを片方ずつ、フタと接触するまで内側に動かします。



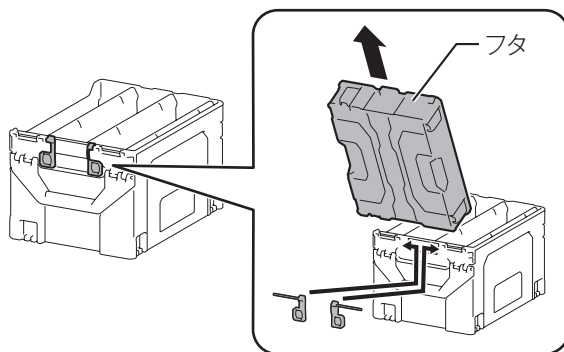
ロックピンが固くて取りはずしにくい場合は、マイナスドライバや硬貨などを引っかけて、矢印の方向に動かして取りはずしてください。



2. フタを全開にします。
3. フタを手で支えながら、片側ずつロックピンを取りはずします。



4. フタを取りはずし、ロックピンを元の位置に取り付けます。



■ 取り付け方

- ・ 取りはずし方と逆の手順（4 → 3 → 2）で取り付けます。

注

- ・ ロックピン取り付け時（手順 3）は、カチッと音がするまで確実に挿し込んでください。

本製品の置き方

⚠ 警告

本製品を設置する際は、充電器のコードを本製品や壁などではさまないようにしてください。

本製品は安定した滑りにくい平面に置いてください。

- ・ 設置場所に障害になるものや、出張り、傾斜などがあり、滑りやすいと本製品が落下し、事故の原因となります。

本製品を横置きする場合は、フタのヒンジがある面を下にして設置しないでください。

- ・ 不安定なため、破損やけがの原因となります。

本製品を横置きする場合は、本製品同士を上を重ねて置かないでください。

- ・ 不安定なため、けがの原因になります。

本製品の上に物を置いたまま放置しないでください（マックパックをフタに確実に固定した状態を除く。25 ページ参照）。

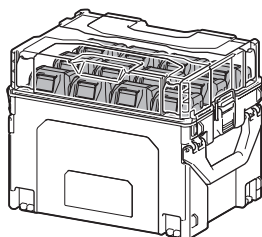
- ・ 不安定なため、けがの原因になります。

本製品を作業台や踏み台として使用しないでください。

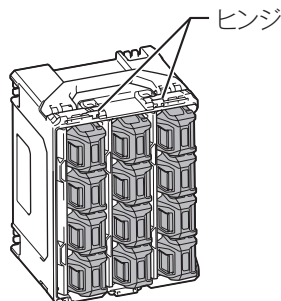
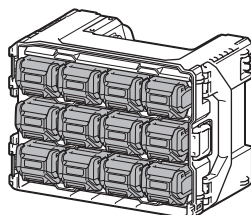
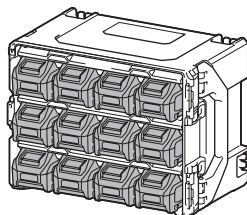
- ・ けがの原因になります。

- ・ 本製品を机や棚に置く際は、警告の内容に注意して使いやすい向きで設置してください。

[縦置きの場合]



[横置きの場合]



注

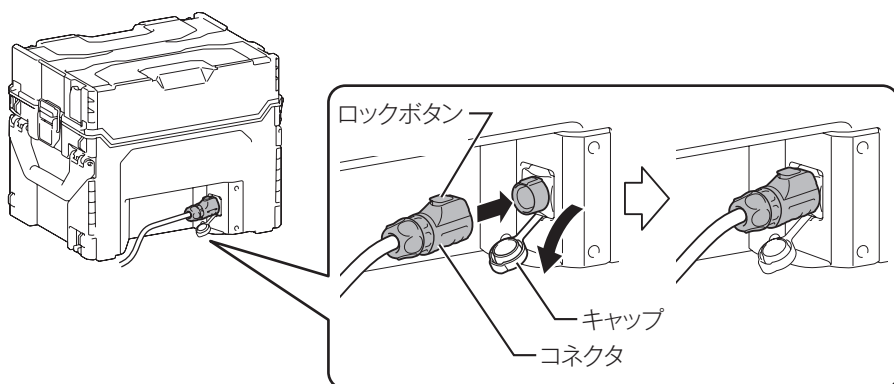
- ・ 横置きする場合は、必ずフタを取りはずしてください。

バッテリーの充電方法

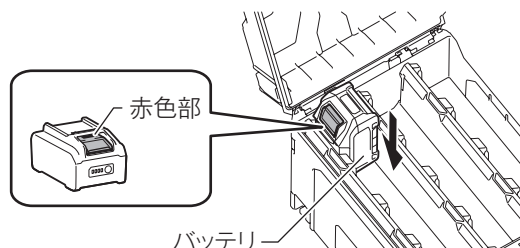
⚠ 警告

本製品に下部積載物がある状態でバッテリーを充電する場合、本製品と下部積載物の連結や固定が正しく行われていることを確認してください。棚などに横置きで本製品を設置して、バッテリーを抜き差しする際には、本製品が落下しないよう手を添えて行ってください。ハンドルなどをロープで固定するなど、バッテリーを抜き差しする際に本製品が落下しないよう安全に配慮してください。

- ・ 本製品は最大 4 個のバッテリーを同時に充電できます。
- 1. キャップを開き、充電器のコネクタを下図のような向きで本製品にカチッと音がするまで差し込み、充電器のプラグを 100 V の電源コンセントに差し込みます。
- ・ バッテリーが接続されていない充電口の充電表示ライトのみ、約 10 秒間点灯し、その後消灯します。



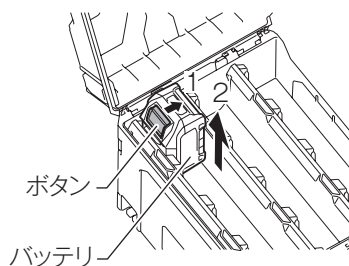
- 2. 本製品のフタを開け、バッテリーをセットします。
- ・ バッテリーの赤色部が見えなくなるまで差し込みます。



※イラストはBL4040の取り付け例です。

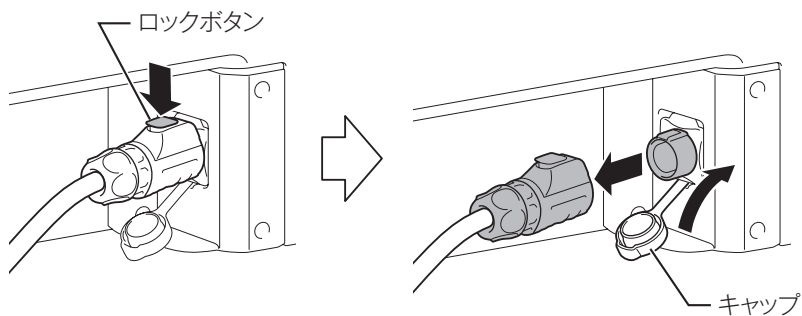
- ・ バッテリーの充電が始まると、充電表示ライトが青色に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。

3. 充電完了後、バッテリーを取りはずす際は、バッテリーのボタンを
 1. 矢印方向に押しながら
 2. 引き出します。



注

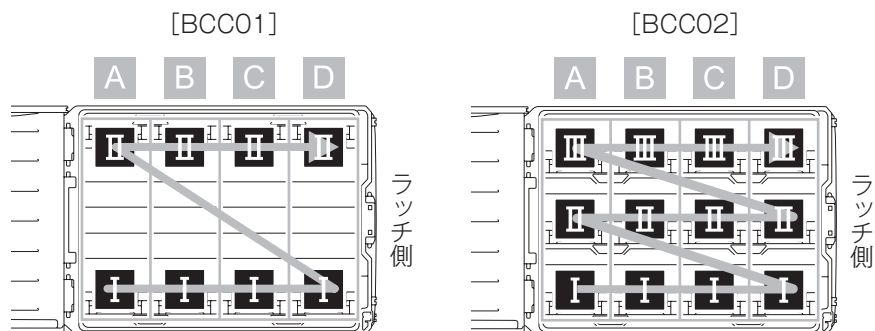
- 充電時間は、バッテリーが充電される温度やバッテリーの状態によって異なります。
- バッテリーを充電していないとき、充電表示ライトは消灯した状態です。
- 充電器のコネクタを本製品から取りはずす際は、コネクタのロックボタンを押しながら取りはずしてください。
- 充電器のコネクタを本製品から取りはずした後は、キャップを閉めてください。



効率の良い充電手順について

下図の充電口に矢印の順番でバッテリーを挿入すると、効率よく充電できます。

- ・ 本製品は下図の A から D の各縦列で充電機能が互いに独立しているため、各縦列に 1 個ずつバッテリーが充電でき、最大 4 個同時充電が可能です。
- ・ 同じ縦列にあるバッテリーは挿入された順番で充電されます。



バッテリーを 4 個同時充電する場合

各 A、B、C、D 列の任意の番号の充電口にバッテリーを 1 個ずつ挿入してください。4 個同時にバッテリーが充電できます。

バッテリーを 4 個同時充電できない場合

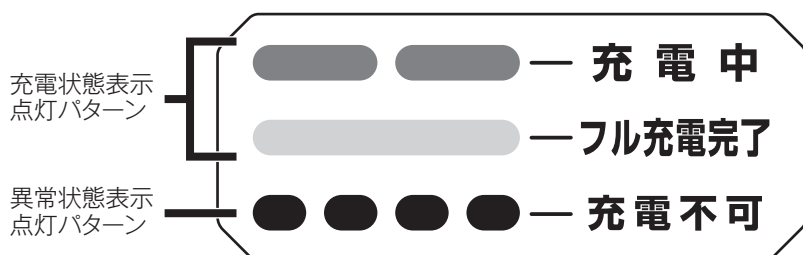
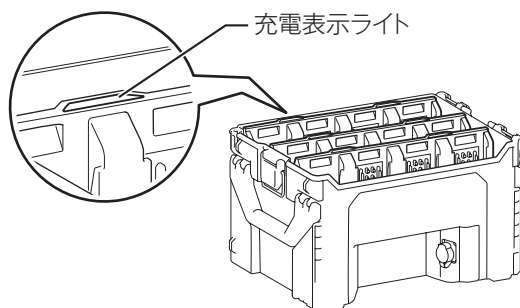
各 A、B、C、D 列の充電口にバッテリーを 1 個ずつ挿入せず、同じ列に複数のバッテリーを挿入した場合は、各列において最初に挿入されたバッテリーの充電が完了してから、次に挿入されたバッテリーの充電が開始されるため、4 個同時にバッテリーを充電できません。

注

- ・ バッテリーは各列充電口に挿入した順番に充電されますが、電源投入時にあらかじめバッテリーが挿入された状態では、すべての縦列で I → II → III の順番に充電されます。

充電表示ライトと充電状況表示ラベルについて

本体に貼付されている充電状況表示ラベルは、充電表示ライトの充電状況を示しています。



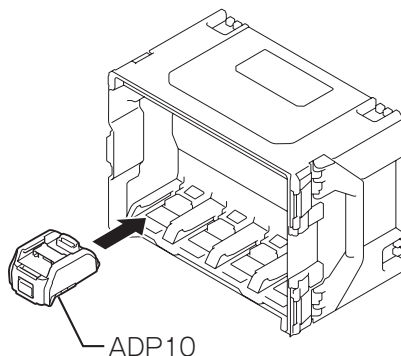
ライト表示	表示内容
消灯	完了を除く非充電状態 電源に差し込んで、バッテリーをセットしていない場合 (電源に差し込んだ後、約10秒間は緑点灯) バッテリーが高温または低温の場合 バッテリーが充電の順番待ちの場合
青点滅 	充電中 バッテリーが充電中の状態です。
緑点灯 	フル充電完了 バッテリーの充電が完了した状態です。
赤点滅 	充電不可 バッテリー寿命またはゴミづまりで充電不可の状態です。

注

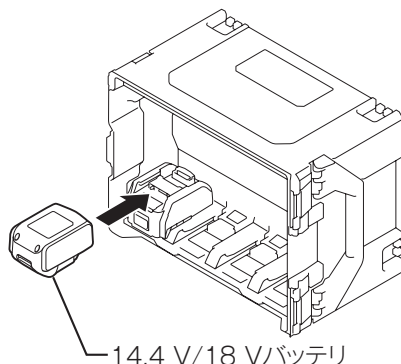
- ・ 本製品はマキタバッテリー充電用です。他の用途や他社製バッテリーには絶対に使用しないでください。
- ・ バッテリーをセットしても充電表示ライトが消灯したままの場合、次のようなバッテリーの状態により充電が開始されない場合があります。
 - ・ 長時間直射日光の当たる場所に放置されたバッテリーや、作動したばかりの工具のバッテリー。
 - ・ 冷気の当たる場所に長時間放置されたバッテリー。
 - ・ 同一列にすでに充電中バッテリーが有り、挿入されたバッテリーが順番待ち状態となった場合。
- ・ 充電表示ライトが赤色に点滅した充電口では、充電できません。本製品またはバッテリーの端子がゴミやホコリで詰まっているか、バッテリー寿命もしくはバッテリーが損傷しています。
- ・ 上記以外の状態で充電が開始されない場合、または次のような状態のときは、本製品、充電器、またはバッテリーに故障があると考えられますので、本製品、充電器、バッテリーを、お買い上げの販売店、または当社営業所へお持ちください。
 - ・ 充電器のプラグを 100 V の電源に差し込んでも、充電表示ライトが約 10 秒間、[緑点灯] しない。
- ・ バッテリーを使用しないときは、バッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やホコリから保護するのに役立ちます。

14.4 V/18 V バッテリーを充電する (BCC01)

- ・ BCC01 は互換アダプタ ADP10（別販売品）を取り付けることで、14.4 V/18 V バッテリーを充電できます。
 - ・ 充電対応バッテリーについては、ADP10 に付属の取扱説明書を参照してください。
 - ・ バッテリーの充電について詳しくは、「バッテリーの充電方法」（17 ページ）を参照してください。
1. ADP10 を本製品にセットします。



2. 14.4 V/18 V バッテリーを ADP10 に取り付けて充電します。



注

- ・ バッテリーを取り付けて保管する場合は充電してください。
バッテリーの寿命が短くなる恐れがあります。

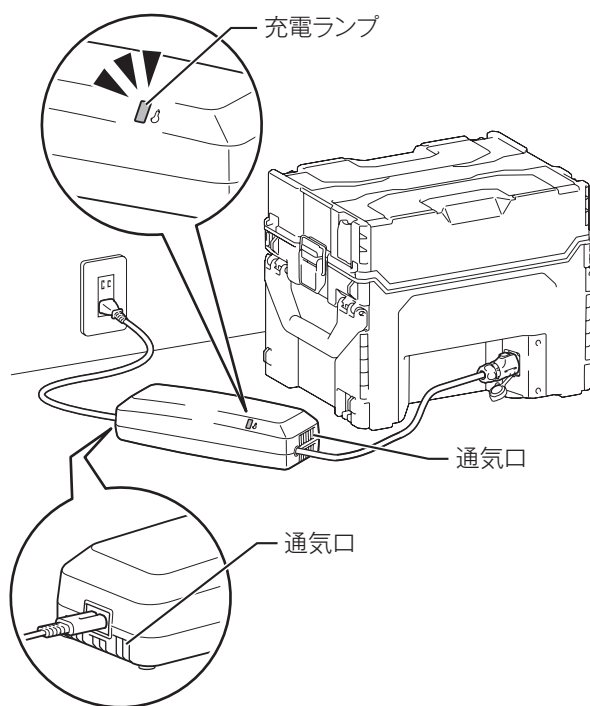
充電器の冷却システムについて

この充電器は、冷却ファンを装備しています。冷却時に冷却風の音が出ますが、充電器に異常はありません。

以下の場合、充電ランプが赤く点滅して充電器の温度異常を警告します。

- ・ 冷却ファン故障
- ・ ホコリが詰まっているなど、充電器の冷却が不完全な場合

充電ランプが赤く点滅しても充電は可能です。この場合、14.4 V/18 V バッテリーの充電は停止し、36 V (40 V max) バッテリーの充電時間は通常より長くなります。冷却ファンの音と充電器の通気口を確認してください。通気口がホコリで詰まっていたり、障害物でふさがっていたりすることがあります。冷却のため、充電器の通気口は常にきれいにしておいてください。

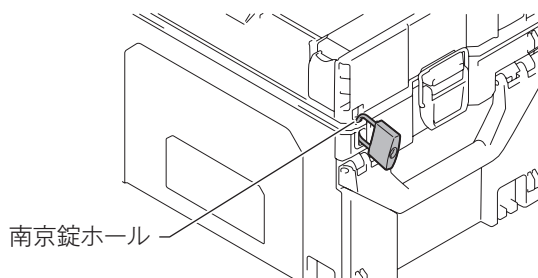


注

- ・ 充電器は通気口が障害物でふさがれない場所に設置してください。
- ・ 冷却ファンの音がしなくても、充電ランプが赤く点滅しなければ、冷却システムは正常です。
- ・ 充電器の通気口がきれいな状態でも充電ランプが赤く点滅する場合は、製品を修理またはメンテナンスに出す必要があります。

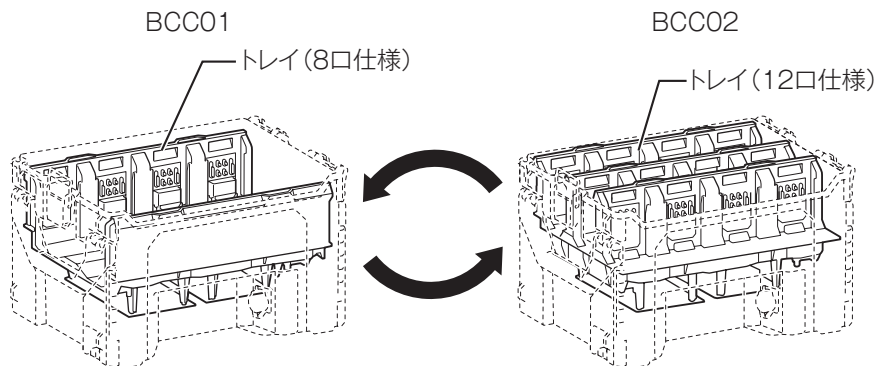
南京錠ホールについて

- ・ 本製品には南京錠ホールがあります。本製品に市販の南京錠などで鍵をかければ、盗難防止に役立ちます。



トレイの交換について

- ・ トレイを8口仕様から12口仕様に変更したい、または12口仕様から8口仕様に変更したい場合は、当社営業所にお申し付けください。



マックパック（別販売品）の取り付け方

⚠ 警告

本製品が 4 つの固定用ラッチでマックパックに確実に固定されていることを確認してください。

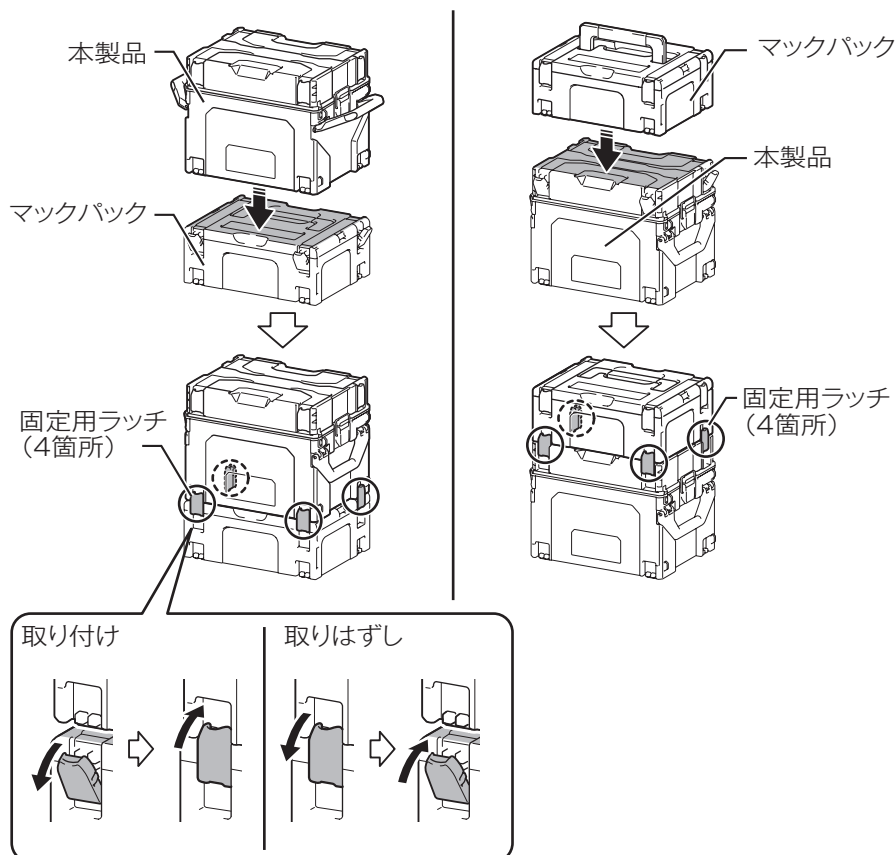
- ・ 落下事故や人身事故の原因となります。

⚠ 注意

固定用ラッチを取りはずすときは、固定用ラッチにしっかりと指をかけてください。

- ・ 指が固定用ラッチから滑り落ちて、けがの原因になります。

本製品の下側と上側にマックパックの取り付けが可能です。



カート（別販売品）の取り付け方

⚠ 警告

カートの最大積載耐荷重は 100 kg です。最大積載耐荷重を超える積載物を載せて運搬しないでください。

- ・ 転倒や事故、破損の原因になります。

本製品がカートにしっかりと取り付けられていることを確認してください。

- ・ カートから本製品がはずれ、落下事故の原因となります。

段差がある所を移動するときは注意して、静かに移動してください。

- ・ 転倒などによる破損やけがの原因になります。

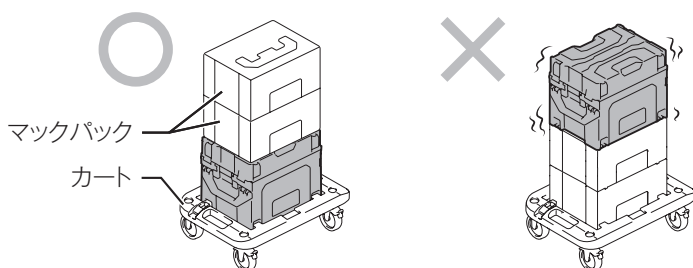
本製品をマックパックと連結させてカートで運搬する際は、本製品を最下段にしてください。

- ・ 本製品を上段にして運搬するとバランスが不安定となり、事故の原因となります。

本製品とマックパックの取り付けについては、25 ページを参照してください。

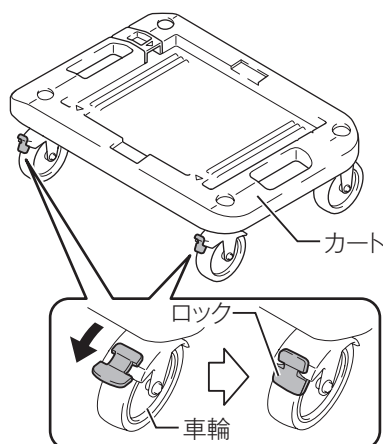
本製品の上面に乗ったり、マックパック以外の荷物を載せたりしないでください。

- ・ 転倒や事故、破損の原因になります。

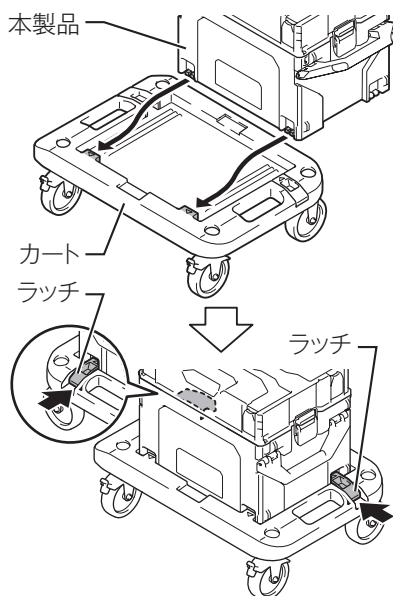


本製品をカートに取り付けることで、簡単に運搬することができます。

1. カートの車輪が、ロックされていることを確認します。



2. 本製品下部の突起部分を、カートの凸部下側にさし込みます。
3. 後ろのラッチを内側にスライドして、本製品を固定します。



トローリ（別販売品）の取り付け方

⚠ 警告

本製品をトローリに取り付ける際は、図のようにマキタロゴがトローリのタイヤと反対向きになるように取り付けてください。

- ・ マキタロゴをトローリのタイヤと同じ向きに取り付けるとバランスが不安定となり、事故の原因となります。

段差がある所を移動するときは注意して、静かに移動してください。

- ・ 転倒などによる破損やけがの原因になります。

本製品をマックパックと連結させてトローリで運搬する際は、本製品を最下段にしてください。

- ・ 本製品を上段にして運搬するとバランスが不安定となり、事故の原因となります。

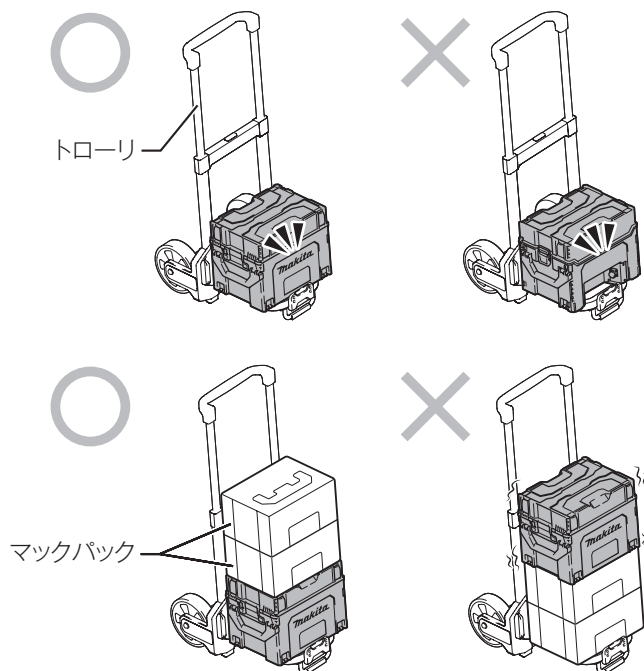
本製品とマックパックの取り付けについては、25 ページを参照してください。

本製品の上面に乗ったり、マックパック以外の荷物を載せたりしないでください。

- ・ 転倒や事故、破損の原因になります。

本製品をトローリに取り付けることで、簡単に運搬することができます。

- ・ 図のように、本製品を正しくトローリに取り付けてください。
- ・ トローリへの取り付け方の詳細はトローリに付属の取扱説明書をお読みください。



バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

⚠ 警告

保守、点検の際は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜き、本製品よりバッテリーを抜いてください。

- ・ 電源プラグを電源コンセントにつないだままや、バッテリーを本製品に差し込んだまま行くと、事故の原因になります。

保守

本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

点検

本製品の点検／修理／保管について

- ・ いつも安全に能率よくお使いいただくために定期点検をおすすめします。
修理・点検はお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 本製品の保管場所として次のような場所は避けてください。
 - × お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる所
 - × 温度や湿度の急変する所
 - × 湿気の多い所
 - × 直射日光の当たる所
 - × 揮発性物質の置いてある所

881K46A9
CRE

株式会社 マキタ

愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）